

## 美 唄

### よい歯のコンクール

6月4日(金)午前9時30分より美唄保健センターにおいて、平成16年度「よい歯のコンクール」が開催されました。平成15年度の3歳児歯科健診で、虫歯のなかった子供から選出し、当日35名の方が参加されました。

人数を聞き、少ないな～と思いました。これはもちろん虫歯が増えているわけではなく、子供の人数が減っているためです。去年からみても10人ほど参加者が少なかったようです。年々参加者の減るこのイベント、このペースで人数が減っていくとついには開催も危うくなってしまわないかと心配してしまいます。

一緒に審査を行った宝崎会長によれば、「30～40年前、3歳児健診といえばほとんど100%の子に虫歯があった。それが今では虫歯がないのがあたりまえ、あっても初期虫歯が1～2本という状態になっている」そうです。確かに40年前と言えばまさに私自身3歳です。3歳のことは覚えていませんが、小学校入学前私はミソッパ（私語に近いかも）でその顔に前歯が全くありませんでした。高度成長期、世の中が豊かになるにつれ甘いお菓子がいくらかでも食べられるようになっていたのに、虫歯予防に関しては全くというほど教育されていなかったのです。そんな時代にも本当に稀に3歳児健診で虫歯のない子がいたそうですが、そんな子を診ると先生の方がびっくりして「お母さん、どうやって育てているのか教えてください」と尋



ねたそうです。時代は変わったのですね。私達歯科医師の努力の賜物と言っていいかもしれません。

さてコンクールですが1次審査で7名に絞られ、厳正な審査によって最優秀賞に1人、優秀賞には3人の子供が選ばれ表彰されました。今回は偶然にも表彰された4人すべてが男の子でした。

(吉村裕美子記)